

【現状・課題】

- 若年人口の減少が2030年代を境に加速化（本県は全国を上回るスピードで減少）
⇒ この6～7年が少子化傾向に歯止めをかけられるかどうかのラストチャンス
- 女性を中心に若い世代の「社会減」
- 若い世代が結婚・子育ての将来展望を描けない
- 若い世代の価値観・意識の変化、理想のライフコースの変化
- こどもや子育て家庭の孤立・貧困や地域の子育て力の低下などが顕在化

主な現状・課題と論点

【論点】

- 若い世代が結婚・子育ての将来展望を描けるようにするための支援
⇒ ライフステージを通じた社会的・経済的不安の解消 等
- 女性や若い世代にとって魅力があり、選ばれる雇用環境の整備
⇒ 若い世代が描くライフデザイン、アンコンシャス・バイアスへの気付き
共働き・共育ての推進(男性育休当たり前、育児期の柔軟な働き方)
- 結婚、妊娠、こども・子育てにやさしい社会づくり・意識改革
⇒ 企業の主体的関わり、地域・社会全体で「こどもまんなか」
- 全てのこども・子育て世帯への支援
⇒ 妊娠前から子育て期に渡る切れ目ない支援
プレコンセプションケアや伴走型相談支援、産前産後ケア、保育サービスの充実等
⇒ 様々な困難を抱えるこどもへの支援
こどもの貧困対策、児童虐待防止、ヤングケアラー支援、
いじめ・不登校対策、こどもの居場所づくり 等